



平和新聞

帯広平和委員会会報

【発行】帯広平和委員会

<http://city.hokkai.or.jp/~peaceweb/>

郵便振替口座 02710-3-56581

Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons 再検討会議

十勝代表団報告会

5月28日(土)午後6時半 とかちプラザ401

例会のご案内

帯広平和委員会例会を下記の日程で開催します。

日時：6月2日(木)
午後7時より

場所：コットンハウス
帯広市西6条南5丁目3-6
(0155-23-4311)

議題：道平総会に向けて
年次総会について



(京都福天平和ネットのホームページより)

NPT再検討会議 NY100万人行動派遣 十勝代表激励会

帯広原水協、原水協十勝ブロックは25日、ニューヨークで開かれるNPT再検討会議、100万人集会に十勝から参加する3名の代表、高橋康子さん、角谷悦章さん、米家直子さんの激励会を開き加盟団体などから26名が集まりました。

はじめに、帯広原水協の高岩劭丞理事長から、この間の取り組みの報告がされ、そして、「過密な日程だが健康に気を付け、そして世界の人たちと交流しその経験を生かし、被爆60年の今年の国民平和行進、原水禁世界大会の運動に生かしてほしい」と激励のことばが贈られました。その後、激励会に集まった全員からも一言づつ、激励の言葉が贈られました。

最後に、代表3名に花束の贈呈がありました。代表からは、それぞれこの間の活動を通じての思いや代表としての決意が述べられました。

被爆60年の今年、5月2日から27日の予定でNPT(核不拡散条約)再検討会議が、ニューヨークの国連本部で開催されています。

日本原水協は、この世界の流れの先頭に立ち、被爆国日本の国民の願いを伝えようと840名の代表団をニューヨークに派遣しました。

帯広・十勝からも11,000筆の署名を持って、高橋康子さん、角谷悦章さん、米家直子さんの3名が参加。元気に帰国しました。

それぞれ、新たな思いと感動を感じてきたようです。

上記の日程で報告会があります。多くのおみなさんの参加をよびかけます。



and the War in Iraq. Abolish All NUKES! United for Peace & Justice and...

(日本平和委員会のホームページより)



北海道平和委員会

第37回総会のご案内

日時 6月5日(日)
午前10時~午後3時
場所 しんきんけんぽ会館
札幌市北区北10条西3丁目
日程 9:40 受付開始
10:00 開会あいさつ
10:10 学習会
講師 馬奈木徹太郎氏
(札幌学院大学法学部専任講師)
11:30 議案書説明
12:00 昼食
13:00 討論、(発言、活動)
14:50 採択、閉会
15:00 終了予定

どなたでも参加できます。自家用車にて乗り合わせて参加する予定です。希望者はお連絡ください。



原水禁世界大会へ

行きませんか?

今年の原水爆禁止世界大会代表団を募っています。参加したい方、参加させたい方がおられましたらご連絡ください。

核兵器のない平和で希望ある世界を!

国民平和進行帯広歓迎集会



を迎えるなかでの開催。例年の憲法の朗読の後、地元高校生の吹奏楽、憲法への思いを語る、ジョイントコンサートなど多彩な催しが行なわれた。参加した市民は、それぞれ世界に誇れる「憲法 9条」を守る運動を広げようと確認し合った。



被爆60年 2005年原水爆禁止国民平和進行(北海道根室コース)が5月11日十勝に入った。11日は、浦幌、豊頃。12日は、池田、幕別。午後帯広市役所などを訪問。

界中の各地で行なわれているこうした運動が平和を守っている。」という話を聞いて元気が出た。寒いけど、この後の行進で、世界中の運動につながりたい。」と話した。



集会終了後、帯広市内を行進。「核兵器も戦争もない平和な世界のためにともに歩こう!」と市民に訴えた。

夕方からは帯広市中央公園で歓迎集会が行なわれ、十勝の独自の網の目コースも終結した。歓迎集会では、仕事を終えた労働者や市民ら88名が参加。通し行進者の松田瑠美子さんと豊田一子さんがあいさつ。「『マツダ』自動車を『トヨタ』自動車が引率して歩いています。私が生きているうちは地球上のみんなが豊かで暮らせるよう、核兵器廃絶のための運動をしたい。今年の原水爆禁止世界大会に是非広島へ来てください。」と訴えました。

平和行進の後、コットンハウスで夕食交流会を行ないました。



詳しくはこちらを http://city.hokkai.or.jp/~peaceweb/2005_05_12/index.html

憲法学習講演会

詩人の心とラディカルな論理

有事法制反対十勝連絡会、帯労連などの主催による憲法学習講演会が5月19日とかちプラザで開かれました。

労働者教育協会副会長の山田敬男氏は、「いまなぜ改憲か」というテーマで講演。改憲をめぐる背景をわかりやすく説明。憲法闘争は「戦後民主主義の鍛え直し」と位置づけ、「詩人の心とラディカルな論理」



「おもいやりと想像力を持ち、ものごとの本質をみる論理を持つこと。そして、「無理をしないで、無理をしよう。一人が無理をするのではなく、ちょっと無理をする人を増やそう」と訴えました。

5月3日にみんなで日本国憲法を読む会 戦後60年 憲法フェスティバル

5月3日の憲法記念日、帯広市内とかちプラザで、「戦後60年憲法フェスティバル」が開かれ、250名の市民が集まった。憲法改悪をめぐる攻防が重大な局面